

2001年3月31日

会員各位

会則第6-4条に従い、2000年度決算および事業につき下記の如くご報告申し上げます。

デジタルバイオカラー研究会  
会長 田中 博

## A. 決算報告

期間：2000年4月1日～2000年12月31日

収入（単位は日本円）

寄付金*1	290,016
利子	99
事業収入*2	3,000

---

計	293,115
---	---------

支出（単位は日本円）

消耗品*3	36,561
次期繰越金	256,554

---

計	293,115
---	---------

\*\* まだ監事の選出が行われていないため監事の意見は省略した。

\*1 第2回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウム剰余金（16円）、日本S G I株式会社（90,000円）および世界臨床病理センター（200,000円）

\*2 第1回デジタル医用画像の「色」シンポジウム抄録集頒布売上（1部）

\*3 第2回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウム電子版抄録集作成用フォント購入費用

## B. 事業報告

1. 第2回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウムに合わせ、2000年4月1日に設立総会が開催され、会則の承認と、初代の理事および会長の選出が別添の議事要旨の如く行われた。

2. 会則第1-2条に従い、ホームページを次のアドレスに開設した。

<http://biocolor.umin.ac.jp/>

3. 選出された理事について意思確認を行なうと共に、会則第5-6条に従って常任理事を

委嘱した結果、最終的に次のアドレスに掲載した方々が就任された。

<http://biocolor.umin.ac.jp/directors.html>

4. 第1回デジタル医用画像の「色」シンポジウム抄録集の翻訳出版事業が、文部省科学研究費補助金の交付対象に採択され、出版担当理事が中心となって次のアドレスに掲載した事業計画を支援した。

<http://biocolor.umin.ac.jp/book200102/manuscripts/>

なお、本書籍は既に「Digital Color Imaging in Biomedicine」という書名で2001年2月28日に株式会社アイディより出版され、電子版が次のアドレスに掲載されている。

<http://biocolor.umin.ac.jp/book200102/>

5. 上記出版事業に伴い、第2回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウムを特集した学術誌の電子出版と、電子メール新聞の発刊を延期した。なお、出版事業の完了に伴い、両者は間もなく実行に移される予定である。

6. 2000年10月10日～11日に千葉大学工学部において開催されたSecond International Symposium on Multispectral Imaging and High Accurate Color Reproductionを共催した。本学術集会のホームページは次のアドレスにある。

<http://www.icsd6.tj.chiba-u.ac.jp/~tsumura/2nd/SpectSympo2000.html>

7. 第3回デジタル生体医用画像の「色」シンポジウムの開催準備を鋭意進めた。なお、本シンポジウムは三宅洋一副会長を実行委員長として、2001年7月13日～14日に東京医科歯科大学で開催されることが決まっており、間もなく募集要項がアナウンスされる予定である。

以上

## デジタルバイオカラー研究会設立総会 議事要旨

日時 2000年4月1日 18:10～18:35

場所 東京医科歯科大学5号館講堂

議事:

(1) 下記アドレスに掲載の会則のもとに、デジタルバイオカラー研究会の設立が承認された。

<http://biocolor.umin.ac.jp/constitution.html>

[http://biocolor.umin.ac.jp/constitution\\_e.html](http://biocolor.umin.ac.jp/constitution_e.html) (英語版)

(2) 下記の方々が初代理事として選出された。

- ・ 下記アドレスに掲載されているデジタルバイオカラー研究会設立準備委員全員  
[http://biocolor.umin.ac.jp/sympo199905/index.html#members\\_pre](http://biocolor.umin.ac.jp/sympo199905/index.html#members_pre)
- ・ Professor Debu Mukhopadhyay, Theory Group, Saha Institute of Nuclear Physics, Calcutta, India
- ・ Dr Debaprasad Chaudhuri, M.D., Department of Gynecology & Obstetrics, Darjeeling District Hospital, Darjeeling, India
- ・ Professor Dr Pradip Kumar Deb, Department of Radiodiagnosis, Institute of Postgraduate Medical Education & Research, Faculty of Medicine, University of Calcutta, Calcutta, India
- ・ Dr. Jong-Hyun Yoon, Director of Clinical Pathology, Borame Hospital, Seoul, Korea
- ・ Professor Shen Hong, Department of Pathology, 1st Military Medical University, Guang Zhou, 510515 China
- ・ Barry Pass, DDS, PhD, Head, Division of Oral and Maxillofacial Radiology / Director, Radiation Dosimetry Laboratory, Dalhousie University, Halifax, Nova Scotia, Canada

(3) 但し設立総会欠席の設立準備委員については、後日理事就任受諾の意思を確認することとなった。

(4) 初代会長として東京医科歯科大学の田中博教授が選出された。

以上